19 日本国特許庁 (JP)

⑩特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭58—192450

Int. Cl.³
 H 02 K 5/22

識別記号

庁内整理番号 7052—5H 43公開 昭和58年(1983)11月9日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 4 頁)

匈回転電機

②特 願 昭57-75142

20出 願 昭57(1982)5月7日

⑰発 明 者 服部鴻毅

三重県三重郡朝日町大字縄生21 21東京芝浦電気株式会社三重工 場内 ⑩発 明 者 佐藤尚

三重県三重郡朝日町大字縄生21 21東京芝浦電気株式会社三重工 場内

⑪出 願 人 東京芝浦電気株式会社 川崎市幸区堀川町72番地

邳代 理 人 弁理士 則近憲佑 外1名

明 細 曹

1. 発明の名称

圓転罐機

- 2. 特許請求の範囲
 - (1) 回転機機の固定子枠に設けたリード線引出 し部の端子台内をシーリングコンパウンドで発射 の端子台内で、固定子枠のリード線通し を引出し、リード線用孔と端子記し を出まって、調子記し、 を出まって、機器である。 でのリード線開孔がらそれでれ機器がある。 リード線用孔がられて、機器がある。 リード線用し、このリード線端子板の出級を がいる。 がい。 がいる。 がい
 - (2) 嵌着するリード線端子板を、断面がカップ 状で周辺が端子台の通し孔に対しスプリングバック機能で装着した特許請求の範囲第1項配載の回 転電機。
- 3. 発明の詳細な説明 〔発明の技術分野〕

本発明はリード線引出し部を密封とした端子台を備えた回転電機に関するものである。

〔 発明の技術的背景とその問題点〕

回転離機は確々の規格により密封性が要求され る。例えば耐圧防爆形回転電機の場合は、機器内 で発生したアークや炎が回転電機外に漏れない事、 又、粉腫防爆形回転電機の場合には、機器外で浮 遊している粉盤が回転電機内に侵入しない事が要 求される。この様に密封性が問題となる部分に端 子台のリード線引出し部がある。この様に密封性 が要求される回転電機の端子台のリード線引出し 部の従来の構成について図面を参照して説明する。 第1 図は回転電機の機断面図で、第2図は第1図 の端子箱を除いた『一『終に沿つた矢視断面図で ある。間定子巻練1に接続された複数本のリード 線2は固定子枠3内に設けたリード線通路4を軸 方向に通し、固定子鉄心 5 の軸方向の略ぼ中央の 側面に開口する場子台6の通し孔6 aから機器外 にリード線2を引出す。引出されたリード線2は、 第3図の拡大した斜視図で示すリード線仮固定治

上記した従来の端子台6の構成では、シーリングコンパウンド9をリード線通路4内に充塡してリード線2を密封状に固着するのに、リード線仮固定治具7を取付け、又シーリングコンパウンド9が凝固後に取外す手間を要し、取外す際にリー

(3)

本発明は上記した事情に鑑みて成されたもので、従来の欠点を改良し、リード線引出し密封装置の作業性の向上を計り、回転電機の据付現地での端子箱取外し時のリード線の切断及び損傷を防止した端子台を備えた回転電機を提供する事を目的とするものである。

(発明の実施例)

ド線用孔 7 a なりード線 2 から引抜く為に、りー ド線2の外被絶縁を損傷する欠点がある。尚、リ ード仮園定治具7面、及びリード線用孔7aの内 周にはシーリングコンパウンド9が付着している ので、取り除くのに手間を要し、リード線2の端 末にテープ10及び圧着端子11を間着するには、 シーリングコンパウンド9が凝固後のリード線仮 間定治具7を取外した後に行なう必要があるので、 作業性が劣る欠点がある。更に回転電機の据付け 現場において、端子箱12の口出しねじ12aの方 向を変更して取付ける場合に、例えば、第4図の 第1図のIV-IV線に沿う矢視側面図で示すように、 四箇所の取付ポルト8をそれぞれ8 a , 8 b ,8c の順に取外すと、この場合端子箱12を確実に手 で保持していないと矢印14の方向に回動する。 即ち第5図に示すように端子箱12は重力で取付 ポルト8を中心に、端子箱12が回動してしまい、 端子箱 1 2 の通し孔 12b のエッシ回りでリード線 2を切断、あるいは損傷する等の欠点があつた。 〔発明の目的〕

(4)

2の末端は、リード機端子板15に表示した端子 記号T1乃至T6にそれぞれ合わせリード線2の 引出し用孔 15a から機器外に引出す。リード線端 子板15は端子台8の通し孔6aに同心状に位置 決めして、リード線端子板18の取付ポルト用孔 15bに取付ポルト Bを通し、端子台の対面 6 bに リード線端子板15を密封状に締補固定して設け る。又、端子台6内及びリード線通路4の固定子 鉄心 5 外 周部分にシーリングコンパウンド 9 を充 填して設け、シーリングコンパウンド 9 が凝固す る間にリード線2の末端に圧着端子11を固着し て設ける。上配から、端子台6の端面6カにリー ド線端子板 1 5 の外径厚さだけ出張つた外インロ - 15c が設けられる。しかして、端子台 6 内及び リード線通路4内にレーリングコンパウンド日を 充填後に、リード線端子板15の外径の外インロ - 15c に端子箱 1 2 の通し孔 12b を綴く嵌込み、 端子箱12を締付ポルト8で端子台6の端面6,b に密封状に締着固定し、更に端子端蓋13で被い 取付け形成する。

[発明の効果]

本発明は上記した構成により、従来のリード線 仮固定治具7を廃止して、従来のリード線仮固定 治具7の機能を兼ねるリード線端子板15を備え、 且つシーリングコンパウンド9を充塡し凝固後に 従来のように取外す手間が省け、リード線2の外 被絶縁を損傷する欠点が改良される効果がある。 又、圧着端子11をリード線2の末端に固着する のに、従来ではシーリングコンパウンド9が凝固 後、仮固定治具7を収外した後に行なうのに手間 を要したが、本発明によれば、シーリングコンパ ウンド9を充塡後、直ちに行なう事ができるので 作業性が向上する効果がある。尚、リード線端子 子板15には端子記号T1乃至T6が表示してお るので、従来のように端子記号のテープ10をリ 一ド線2に貼り付ける手間が省ける。更に端子箱 12の通し孔 12b は、端子台 6 の端面 6 b に 同心 状に取付けたリード線端子板15の外径厚さ巾の 外インロー 15c に緩く嵌込まれて引掛るので従来 のように端子箱12の取付ポルト8を取外しても、

(7)

より外部に出張つて設け、端子台6内、及びカップ状のリード線端子板16の開口部16b内、端子台6のリード線端路4の固定子鉄心5外周部分にシーリングコンパウンド9を充填し凝固を出りった線2をリード線通路4内に密封固覆して設ける。次にカップ状のリード線端子板16の外周16cに端子箱12の通し孔12bを殺く嵌込み、端子箱12を締付ボルト8で端子台6の端面6bに密封状に締番固定し、更に端子箱蓋13で被い取付け形成する。上記した他の実施例による作用効果を有するものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は従来の回転電機の横断面図、第2図は第1図の『一』線に沿う矢視断面図、第3図は従来のリード線仮固定治具の斜視図、第4図は第1図の『一『線に沿う矢視側面図、第5図は第4図の端子箱の回動を示す正面図、第6図は本発明の一実施例を示すリード線端子板の拡大斜視図、第7図は本発明の一実施例を示す回転電機の横断面

従来のように一本の取付ポルト8で端子箱12が 懸垂状態に回動して、端子箱12の通し孔12aの 鋭角なエッシ回りでリード線2を切断、あるいは 損傷することがない効果がある。

なお本発明は上配した構成に限定されず例えば 他の奥施例を示せば、第8図はカップ状のリード 線端子板の拡大正面図、及び第9図は第8図のIX - IX線に沿う矢視断面図で、第10図は他の実施 例を示す回転電機の断面図であり、金属又は合成 樹脂等でカツブ状のリード線端子板16を形成し、 カップの 期口 部 16b を 媚子台 B の 通し孔 G a 側に 向け複数個のリード線2をリード線引出し用孔 16a から引出す。リード線引山し用孔 16a にはリ ー ド線 2 の 端 子 配号 T 1 乃 至 T 6 を 表 示 し て 設 け る。しかして、第10図に示すように、端子台6 の通し孔6aにカップ状のリード線端子板16を 篏着する 際 通 し 孔 6 a の内 径 に 対 し リー ド 線 端 子 板16の外径をわづか大としておくとスプリング パック機能により間く嵌着できる。さらにカップ 状の底部 16d を固定子枠 3 の端子 台 6 の端面 6 b

(8)

図、第8図は他の実施例を示すリード線端子板の拡大正面図、第9図は第8図のIX-IX線に沿う矢視断面図、第10図は他の実施例を示す回転電機の横断面図である。

2 … リード線

3 … 固定枠

6 … 端子台

6 a … 端子台の通し孔

6b…端子台の端面

9 …シーリングコンパウンド

12… 端子台

12a … 口出しねじ

126 … 通し孔

15… リード線端子板

15a,16a…リード線引出し用孔

15c…外インロー

16…カップ状のリード線端子板

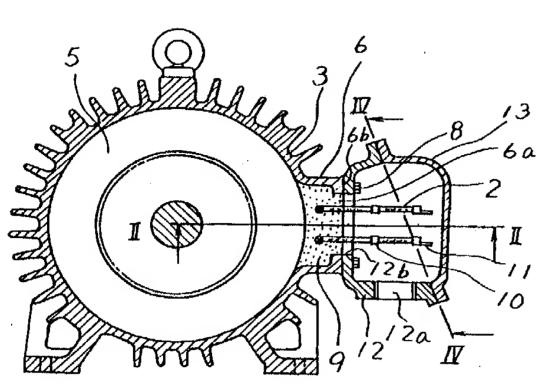
16b… カップの 開口部

T 1 乃至 T 6 … 端子記号

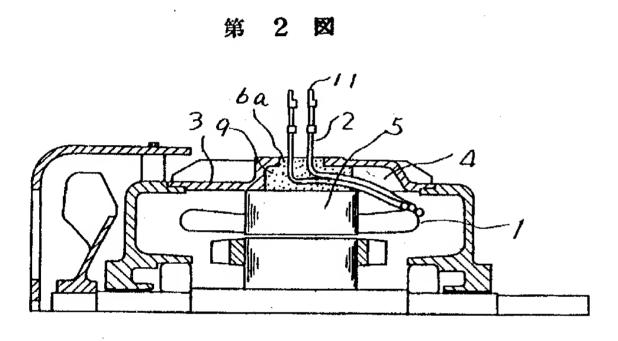
(7317)代理人 弁理士 則 近 憲 佑 (ほか1名)

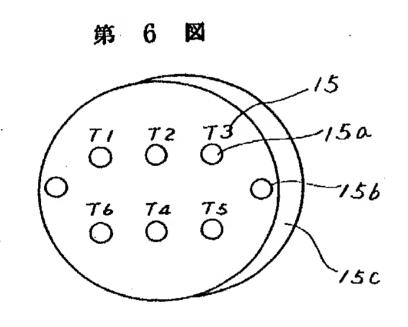
(9)

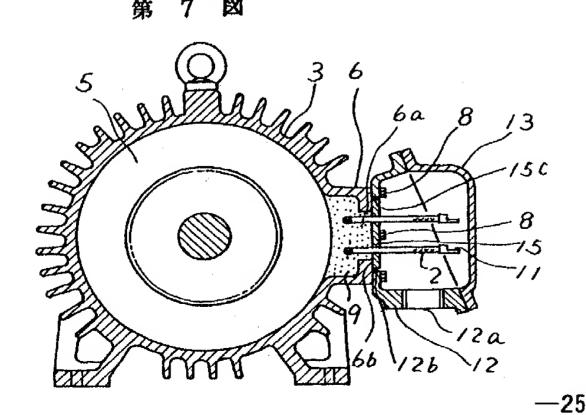
特開昭58-192450(4)

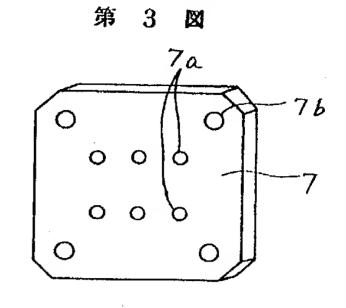


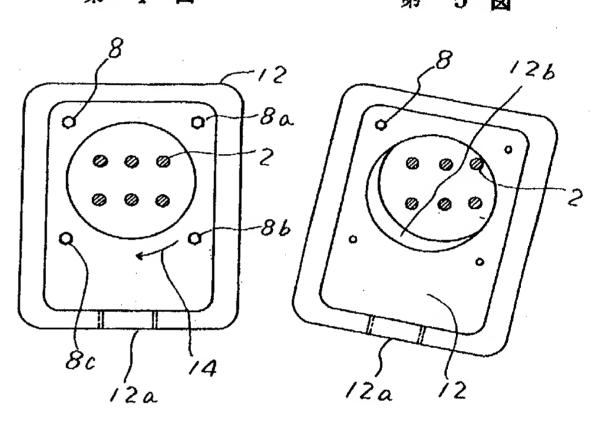
第 1 図

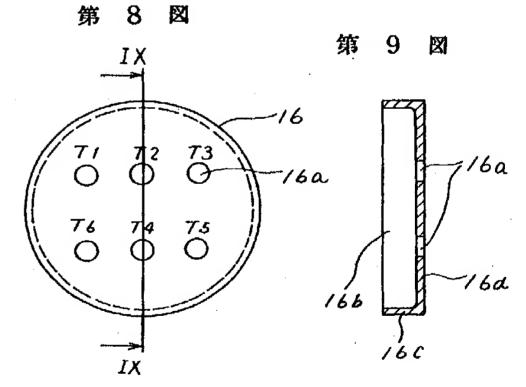


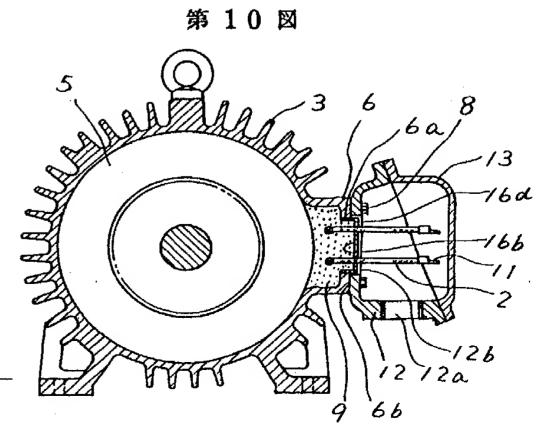












CLIPPEDIMAGE= JP358192450A

PAT-NO: JP358192450A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 58192450 A

TITLE: ROTARY ELECTRIC MACHINE

PUBN-DATE: November 9, 1983

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
HATSUTORI, HIROTAKE
SATO, TAKASHI

ASSIGNEE-INFORMATION: NAME TOSHIBA CORP

COUNTRY N/A

APPL-NO: JP57075142 APPL-DATE: May 7, 1982

INT-CL_(IPC): H02K005/22
US-CL-CURRENT: 310/68R

ABSTRACT:

PURPOSE: To improve the workability of lead wiring leading sealing device and to prevent the disconnection and damage of the lead wirings at the time of removing a terminal box by providing the function of a lead

wiring temporary clamping jig at a lead wiring terminal board.

CONSTITUTION: A lead wiring terminal board which displays a terminal symbol is

concentrically engaged with a hole for lead wirings at the end face of a

terminal base 6 of the hole, through which the lead wirings are inserted of a

stator frame 3 of a rotary electric machine. The lead wirings 2 from the coil

in the machine are led from the hole. With the outer periphery extended from

the lead wiring terminal used as a faucet, the through hole 12b of a terminal

box 12 is loosely engaged, and the box 12 is clamped and fixed in a sealing

manner with the end face 6b of the base 6. Further, a terminal end cover 13 is mounted.

COPYRIGHT: (C) 1983, JPO&Japio